

平成30年度 あいち自動車環境戦略会議総合調整会議・愛知県自動車排出
窒素酸化物及び粒子状物質総量削減計画策定協議会幹事会合同会議 会議録

- 1 日時
平成30年11月13日（火）午後2時30分から午後4時まで
- 2 場所
愛知県本庁舎 6階 正庁
- 3 出席者
総合調整会議構成員及び幹事会幹事 28名
事務局 21名
- 4 傍聴人等
傍聴者・報道関係者 なし
- 5 開会
- 6 議事
 - (1) あいち自動車環境戦略2020における環境目標の達成状況について
 - ・事務局が、資料1に基づき説明した。
 - <質疑応答>なし
 - (2) 自動車環境に関する取組の実施状況について
 - ・事務局、中部経済産業局、中部運輸局、中部地方環境事務所、名古屋市、豊橋市、一般社団法人日本ガス協会が、資料2に基づき各主体の取組を報告した。
 - <質疑応答>
(特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ)
 - ・資料1によれば、運輸部門の温室効果ガス排出量が1.5%増加ということだが、この状況について、県としてどのように認識し、また、今後の対策を進めていくのか。
(事務局)
 - ・運輸部門の大部分を占める自動車からの温室効果ガスの増加については、次世代自動車等の普及によって、自動車全体の平均燃費は向上しているものの、排出量の割合が多い乗用車の保有台数が伸びている影響が大きいと考えている。また、活動量である走行距離も、乗用車については近年横ばい、あるいは微増の傾向である。これらの要因により、排出量が現状下げ止まりの状況にあると考えており、今後の目標達成に向けては、燃費向上のため、次世代自動車等のさらなる普及に努めていくとともに、エコ モビリティ ライフの推進といった自動車利用自体を抑える取組も必要と考えている。
 - (3) 平成30年度自動車エコ事業所の認定について
 - ・事務局が、資料3に基づき説明し、4事業所を認定することについて了承を得た。
 - <質疑応答>なし

(4) その他

- ・事務局が、資料4に基づき愛知地球温暖化対策推進条例について説明した。

<質疑応答>

(特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ)

- ・自動車戦略は、今回制定された条例に位置付けられているものなのか。温暖化戦略と自動車戦略の関係、目標の整合性はどうなっているのか。

(事務局)

- ・条例の中に自動車戦略が位置付けられているわけではない。しかし、自動車戦略でもCO₂の環境目標を掲げているように、地球温暖化対策としての視点も持ちながら、自動車戦略により、自動車環境対策を総合的に進めていくという整理である。
- ・目標の整合性については、自動車戦略の2020年度目標は、温暖化戦略における2030年度目標達成のための中間目標といった位置付けで、その達成を目指すこととしている。
- ・これは、次のような考えによるものである。自動車戦略の温室効果ガスの削減目標は、2020年度に1990年度比で12%削減、温暖化戦略の目標は、2030年度に2013年度比で28.9%削減となっている。温暖化戦略の目標について、2013年度から2030年度まで一定の割合で削減を進めると仮定すると、2020年度には2013年度比で約12%の削減が必要となる。1990年度の排出量と2013年度の排出量はほぼ同じ値となっているため、自動車戦略の目標が温暖化戦略の中間目標となり得ると考えている。

- ・特定非営利活動法人ITS Japanが、法人の活動内容について説明した。

<質疑応答>なし

7 閉会